

# 福島県の中高一貫教育

県教育委員会では、2003年(平成15年)3月、本県における中高一貫教育導入に関する「中高一貫教育実施計画」を公表し、中高一貫教育を推進してきました。この度、県立高等学校改革基本計画、県立高等学校改革前期実施計画を踏まえ、2019～2028年度を計画期間とする「中高一貫教育後期実施計画」を策定しました。

以下に、「本県の中高一貫教育の状況」と、「中高一貫教育後期実施計画」の概要を示します。

## ◇ 本県の中高一貫教育の状況

### 1 併設型中高一貫教育校

#### ○ 会津学鳳中学校・高等学校

- ・開校年度 高等学校 2002年度(平成14年度)  
中学校 2007年度(平成19年度)

・設置場所 会津若松市

・設置学科 総合学科

・生徒募集定員 中学校 90名(3学級)  
高等学校 240名(6学級)

※ 高等学校の生徒募集定員には、併設中学校からの入学予定者数を含む

・通学区域 県下一円

#### ○ ふたば未来学園中学校・高等学校

- ・開校年度 高等学校 2015年度(平成27年度)  
中学校 2019年度(平成31年度)

・設置場所 双葉郡広野町

・設置学科 総合学科

・生徒募集定員 中学校 60名(2学級)  
高等学校 160名(4学級)

※ 高等学校の生徒募集定員には、併設中学校からの入学予定者数を含む

・通学区域 県下一円

### 2 連携型中高一貫教育校

| 高等学校      | 連携先中学校   | 市(郡)町 |
|-----------|--|-------|
| 塙工業高校     | 塙中学校   | 塙町    |
| 田島高校      | 田島中学校、荒海中学校  | 南会津町  |
| 相馬東高校     | 中村第一中学校、中村第二中学校、向陽中学校、磯部中学校                                  | 相馬市   |
| ふたば未来学園高校 | なみえ創成中学校、葛尾中学校、双葉中学校、大熊中学校、富岡第一中学校、富岡第二中学校、川内中学校、檜葉中学校、広野中学校 | 双葉郡   |

## ◇「中高一貫教育後期実施計画」の概要

### 1 中高一貫教育に関する基本的な考え方

- ① 福島県学校教育審議会答申を尊重し、「県立高等学校改革前期実施計画」等との整合性を図る。
- ② これまでの取組を踏まえ、進学面で高い志を持った生徒の進路実現に対応できる新たな中高一貫教育校を検討する。
- ③ 新たな中高一貫教育校の実施形態の選定に当たっては、教育理念や地域の実情等を考慮して、柔軟に対応する。
- ④ 連携型中高一貫教育校については、県立高等学校改革の動向等を踏まえながら、より良い在り方について引き続き検討する。
- ⑤ 中高一貫教育については、本県の未来を担う人材育成の観点から、その在り方について引き続き検討していく。

### 2 配置計画

#### (1) 併設型中高一貫教育校

新たな併設型中高一貫教育校の設置に当たっては、以下の点について考慮する。

- ① 県立高等学校改革に取り組んでいる現状を鑑み、既設の高等学校に併設する県立中学校を開設する。
- ② 進学面で高い志を持った生徒の進路実現に対応するため、難関大学への進学実績が豊富であること。
- ③ これまでの設置状況から、地域のバランスを踏まえること。
- ④ 公共交通機関の利便性の良さにより、児童・生徒の志願がより広範囲から可能であること。
- ⑤ 施設の整備が可能となる敷地面積を有すること。
- ⑥ 併設中学校の生徒募集定員は、周辺の市町村立中学校への影響を考慮する。
- ⑦ 接続する高等学校は、将来の多様な大学への進路希望に対応が可能となるよう、単位制による普通科とし、通学区域は併設中学校と同様とする。

※ 高等学校の生徒募集定員（併設中学校からの入学予定者数を含む）は、年度ごとに策定し公表。

#### (仮称) 福島県立安積中学校・高等学校

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 開校(予定)年度 | 2025年(令和7年度)    |
| 設置場所     | 福島県立安積高等学校(郡山市) |
| 生徒募集定員   | 中学校60名(2学級)     |
| 通学区域     | 県下一円            |

#### (2) 連携型中高一貫教育校

保護者や生徒、地域のニーズに対応したより良い連携型中高一貫教育の在り方については、「県立高等学校改革前期実施計画」における高等学校の再編整備の状況を踏まえて、引き続き検討する。